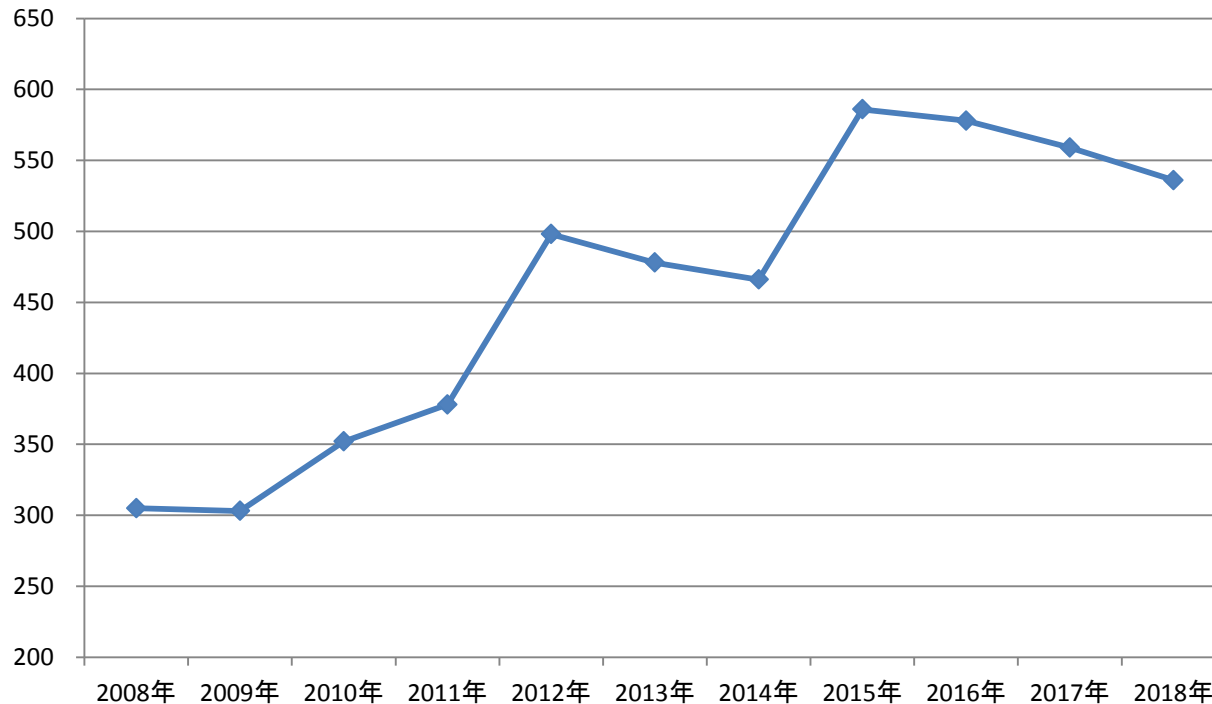
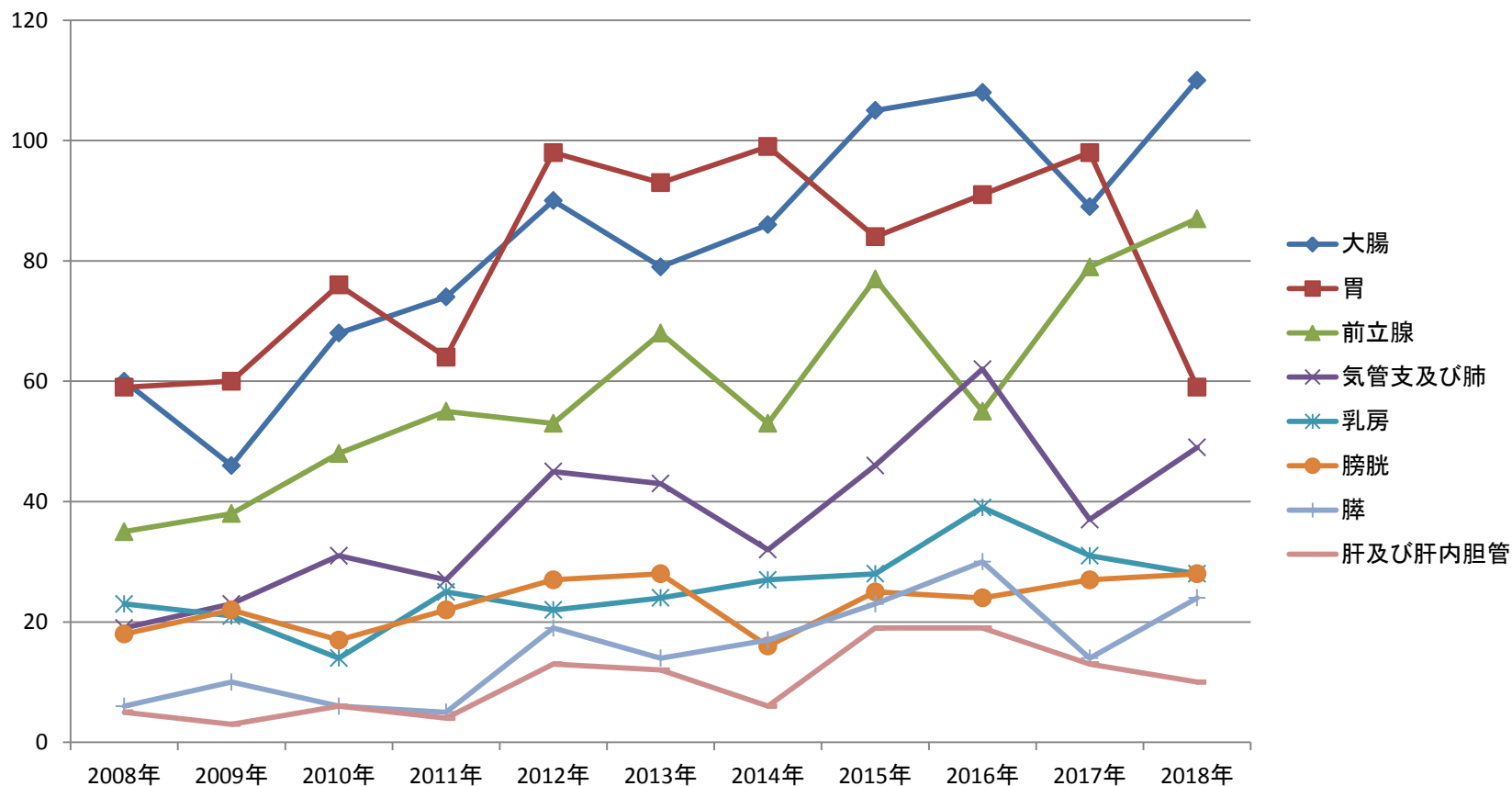


がん登録件数の推移(全症例)



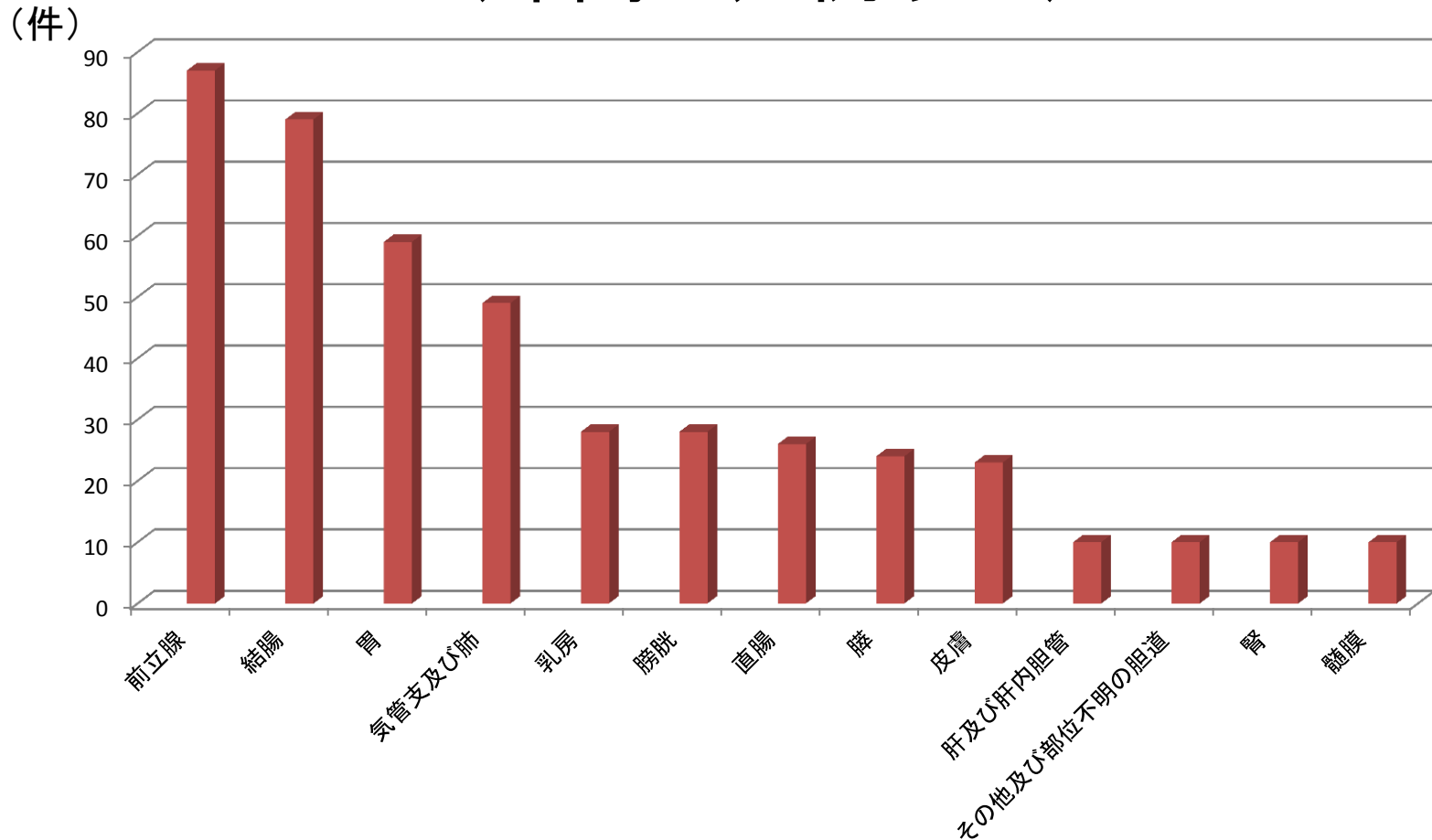
2018年診断症例の登録件数は536件でした。

がん登録件数の推移(部位別)



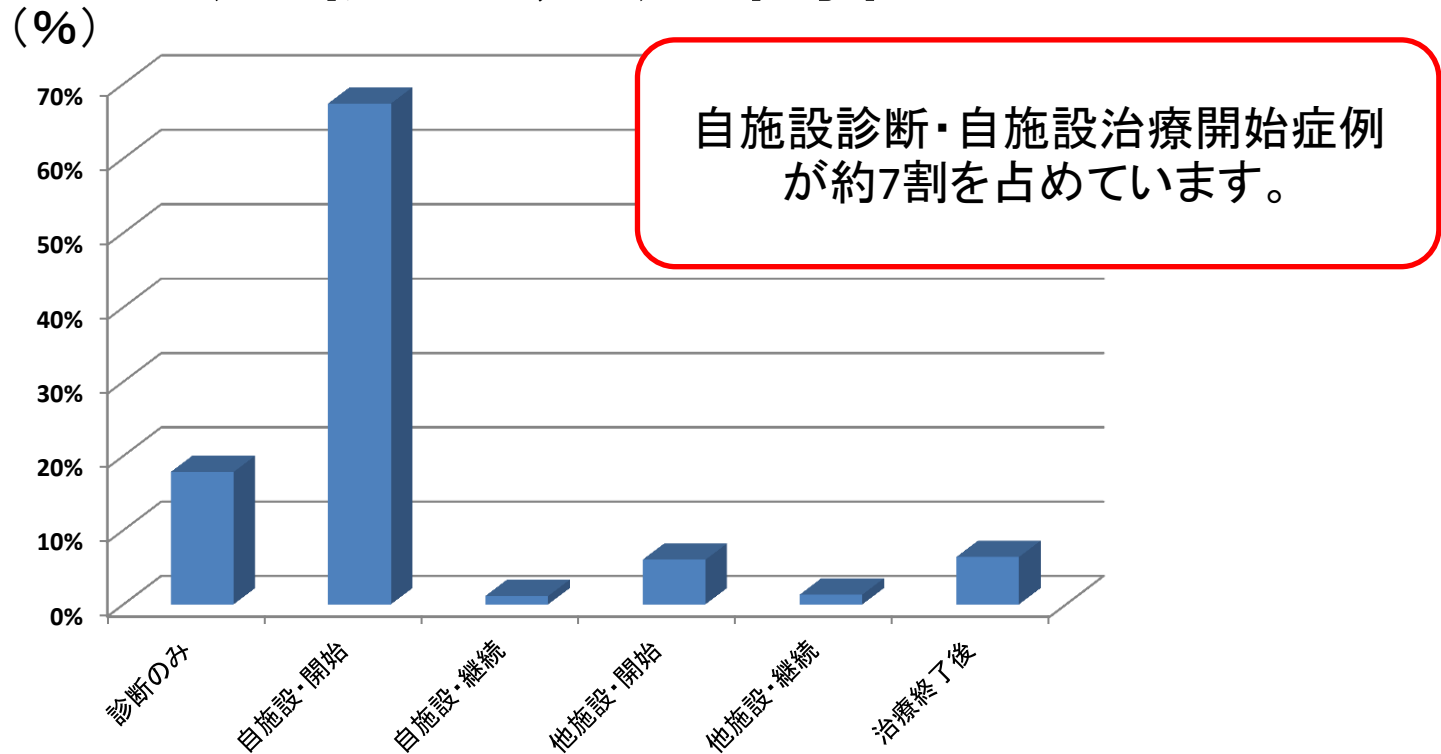
近年大腸癌・前立腺癌の件数が増えてきています。

2018年診断症例部位別件数 (年間10症例以上)



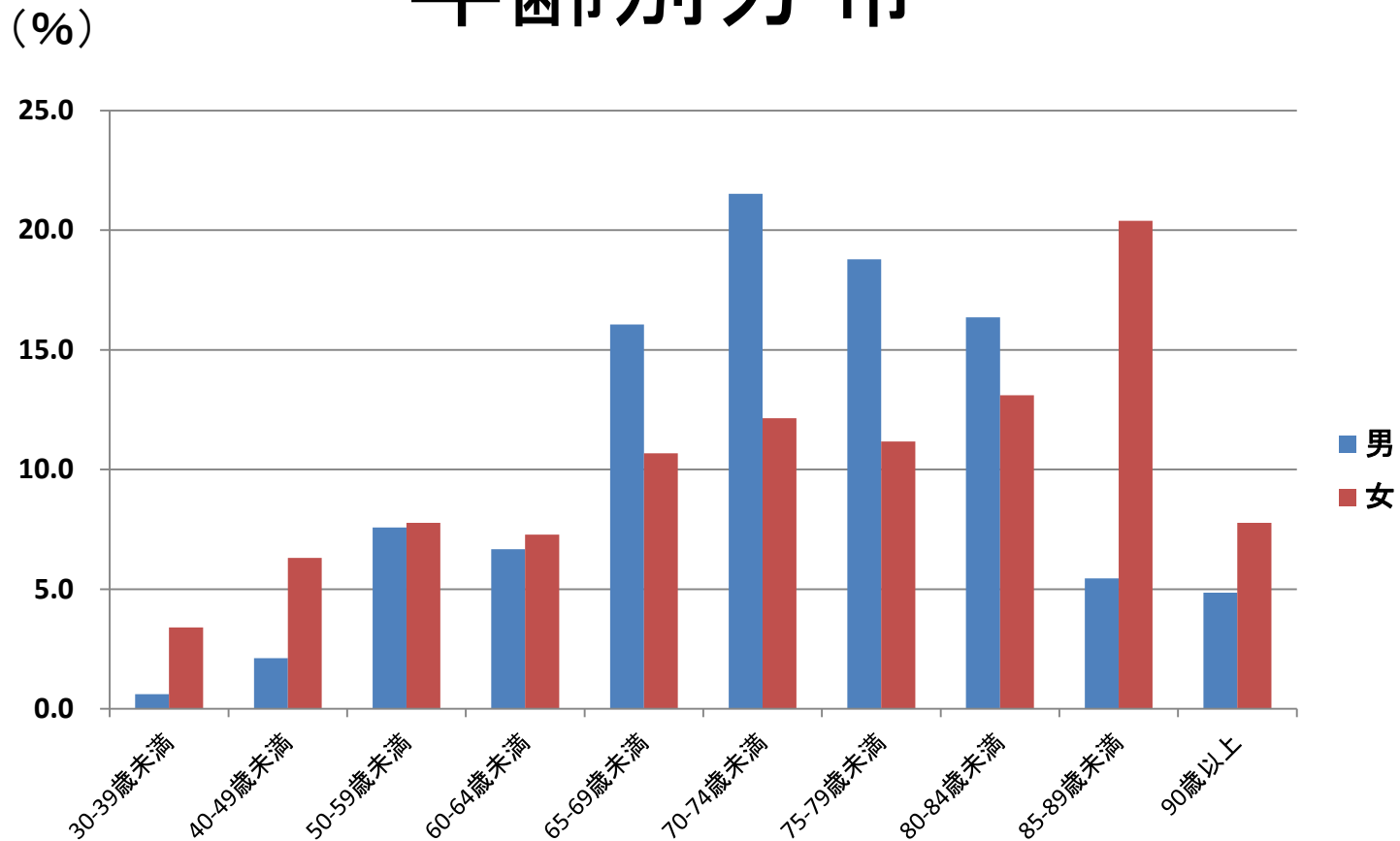
前立腺・結腸・胃の順ですが、結腸・直腸・直腸S状結腸移行部を合計すると大腸が最も多い症例数となります。

2018年診断症例 症例区分別割合



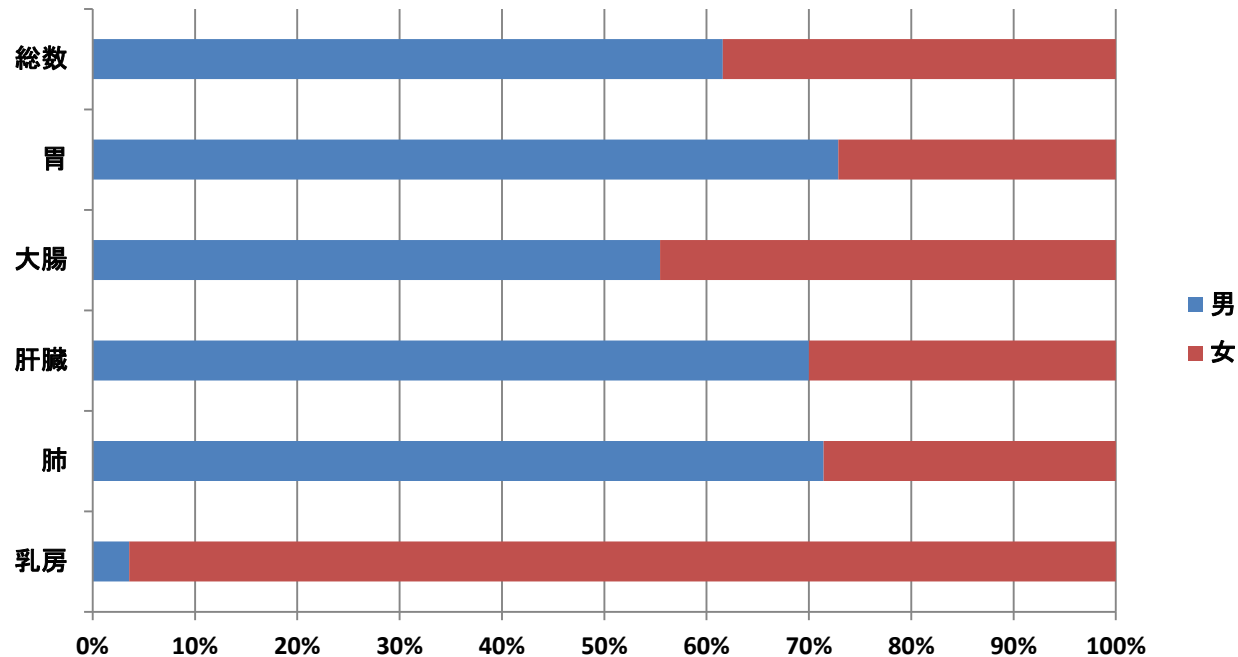
自施設・開始：自施設診断・自施設治療開始
自施設・継続：自施設診断・自施設初回治療継続
他施設・開始：他施設診断・自施設初回治療開始
他施設・継続：他施設診断・自施設初回治療継続

2018年診断症例 年齢別分布



男性は70-74歳、女性は85-89歳が
最も多い年齢階層となっています。

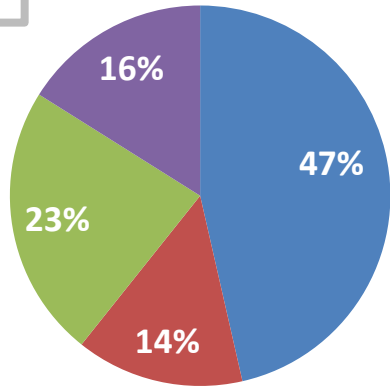
5大がん男女比率 (2018年診断症例)



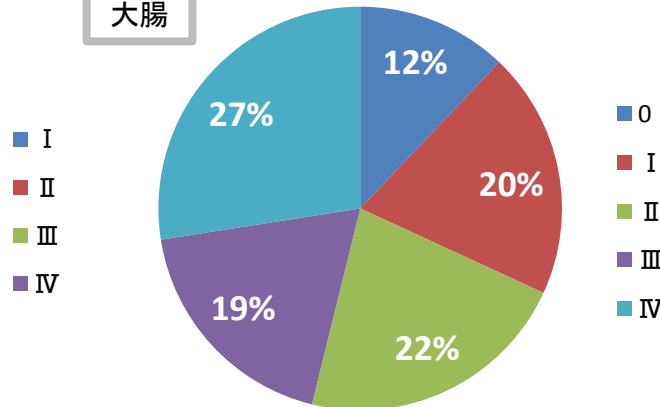
全体(男6:女4)と比較すると、胃がん・肝臓がん・肺がんは男性の割合が多くなっています。

がん登録ステージ別 (2018年診断症例)

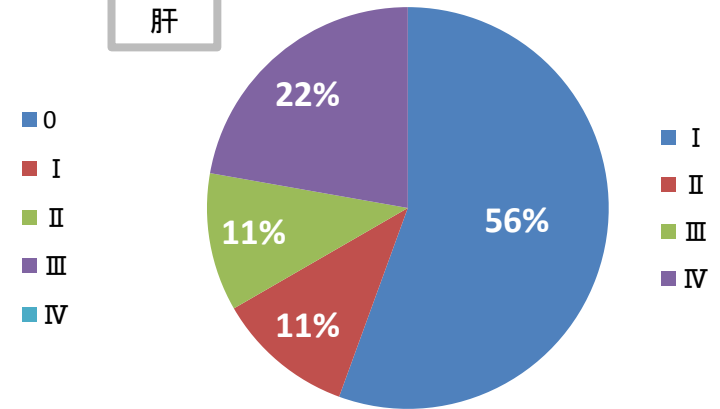
胃



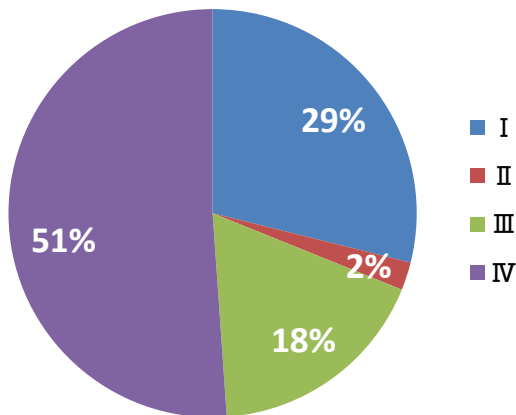
大腸



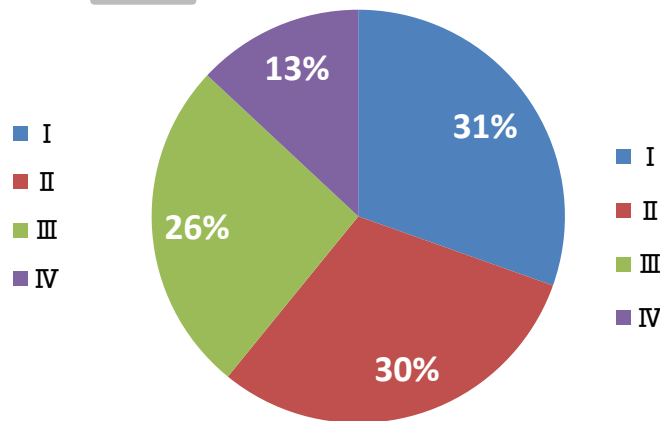
肝



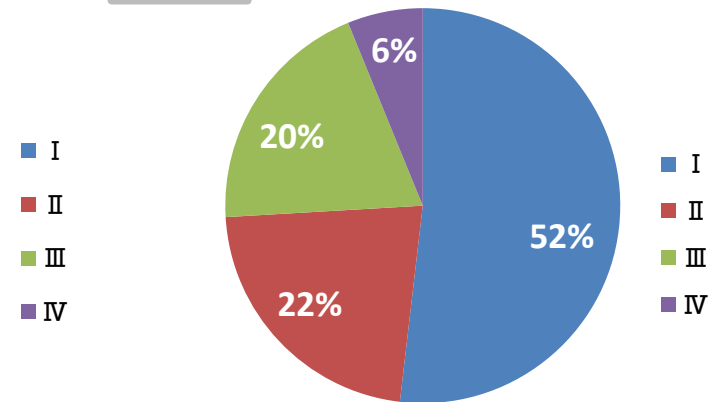
肺

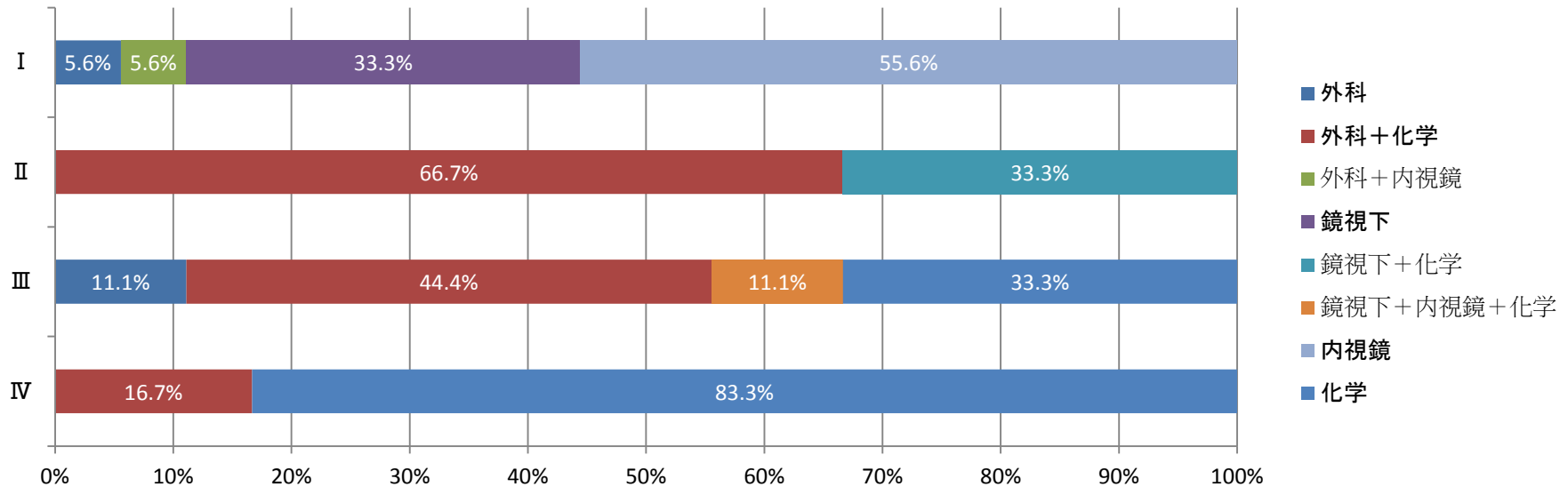


乳腺



前立腺





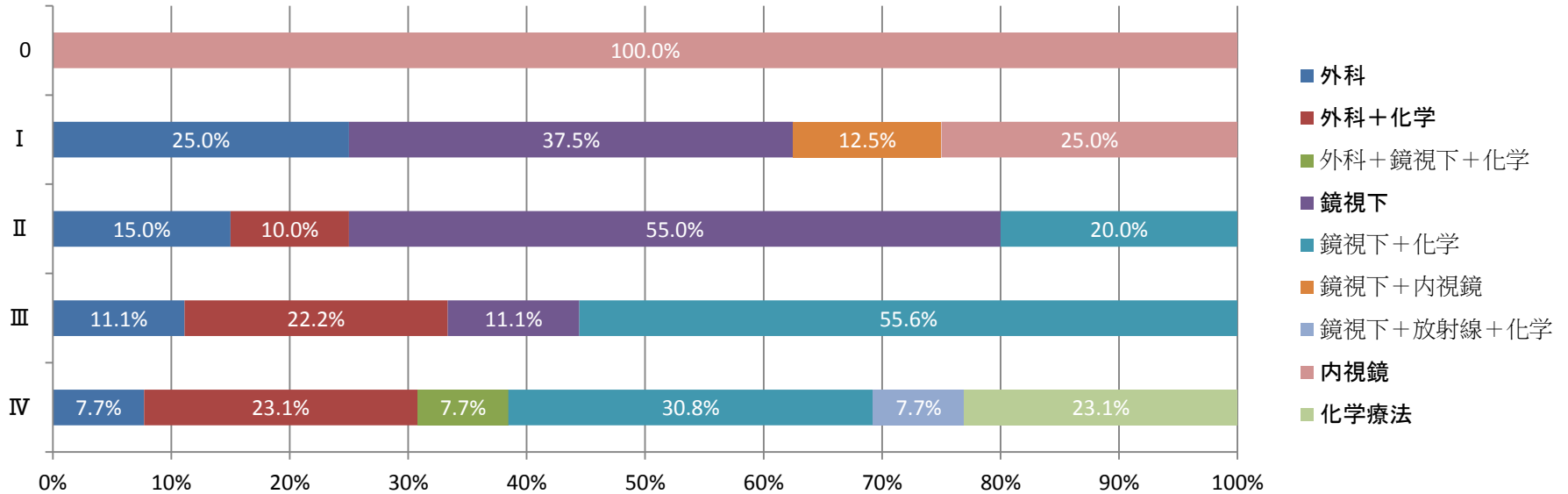
治療の種類

外科	外科的治療(肉眼的視野下の外科的手技による病巣切除術)
鏡視下	鏡視下治療(腹腔鏡／胸腔鏡などを用いた手術)
内視鏡	内視鏡的治療(自然開口部からカメラ等を挿入して、その視野を用いて行われる切除術)
放射線	放射線療法
化学	化学療法(抗がん剤、分子標的薬等)
内分泌	内分泌療法(特定のホルモン分泌を抑制することで腫瘍の増殖を阻止)
その他	血管塞栓術、免疫療法、光線焼灼術等

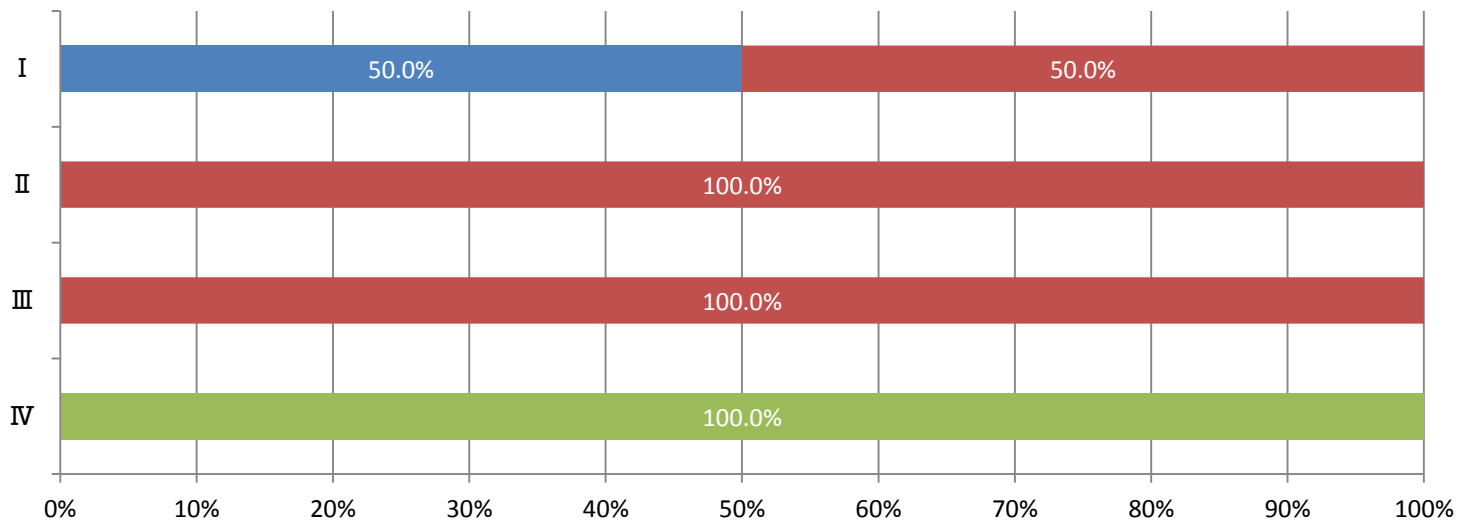
※自施設で行った初回治療(経過観察を除く)のみを対象とします

※ステージは術後病理学的病期を優先し、手術なし／術前治療後に手術を行った場合は臨床病期を用いています

ステージ別／治療別：大腸



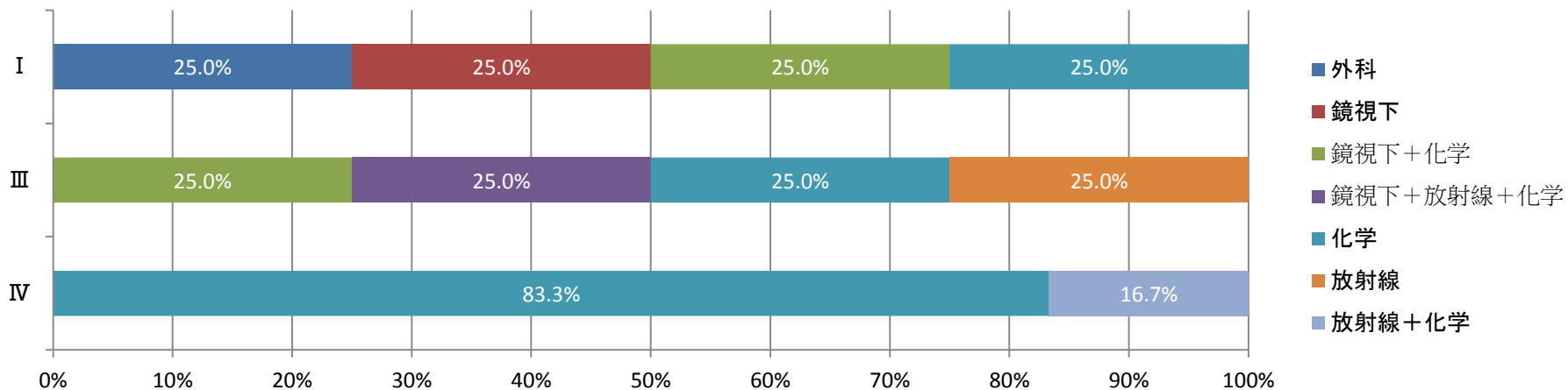
ステージ別／治療別：肝



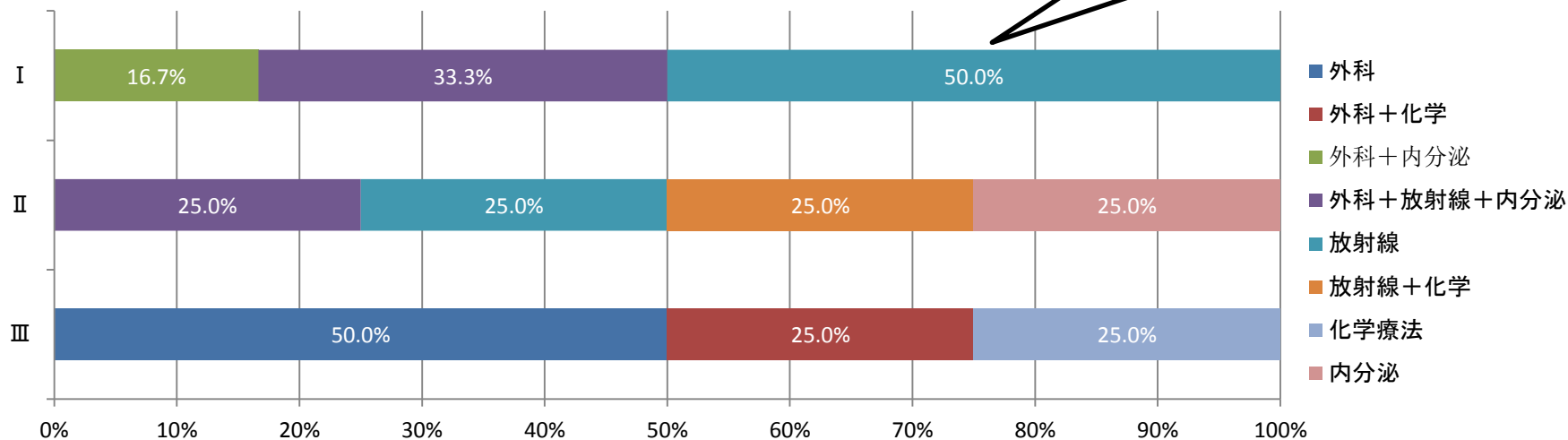
TACE (肝動脈化学塞栓療法)を施行した症例です

- 外科
- 化学+その他
- 化学療法

ステージ別／治療別：肺



ステージ別／治療別：乳腺



他院で手術施行後、当院で術後照射を依頼された例も多くあります。

ステージ別／治療別：前立腺

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術が多く行われています

